

「高カロリー輸液無菌調製と中心静脈ライン関連血流感染の関係性評価」 研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2021年4月～2024年3月の期間において山梨大学医学部附属病院に入院し、中心静脈ラインが挿入された方

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2026年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2024年9月1日

4. 研究の目的

本研究は中心静脈ラインを挿入していた患者さんのうち、中心静脈ライン関連血流感染を発症した患者さんの状況を調査することを目的としています。

5. 研究の方法

この研究は院内の薬剤処方情報および中心静脈ライン関連血流感染状況調査・監視システムデータを用いて高カロリー輸液投与における中心静脈ライン関連血流感染の発生状況を調査します。

6. 研究に用いる情報の項目

使用する情報の項目は年齢、性別、身長、体重、診療科、主病名、入院病棟、入院日、退院日、退院時転帰、高カロリー輸液製剤、脂肪乳剤併用の有無、無菌調製の有無、カテーテル種類、カテーテル挿入部位、カテーテル挿入日、カテーテル抜去日、処方薬剤、抗がん剤レジメン、AST、ALT、LDH、Alb、TP、血清クレアチニン、eGFR、CRP、細菌検査の検査結果です。

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

この研究の情報を扱うのは、当院薬剤部の研究者のみです。

【研究責任者】

山梨大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部長 鈴木貴明

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、山梨大学が管理する日本学術振興会の科学研究費を用いて実施します。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師 莊司智和

メールアドレス：tshohji@yamanashi.ac.jp

TEL：055-273-1111

FAX：055-273-6672